

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年02月13日

計画の名称	桶川駅周辺の安全性や快適性の向上による良好な市街地の形成											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	桶川市											
計画の目標	将来都市像を『みんなで つくり 育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ』と定め、「安心・安全に住み続けられるまち」「活力に満ち人が集うまち」「人と自然が共生するまち」の実現を目標に、次の事業を実践する。 市民の生活・活動拠点となり、商業環境の充実を図る「桶川駅周辺の中心市街地」の整備 歩行者や自転車が安心かつ安全に通行できる「都市計画道路」の整備 良好な住環境を創出し宅地の供給効果を上げ人口増加につなげる「土地区画整理事業」											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,948	A	2,948	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	桶川市人口数の維持 桶川市の人口数(人)	75,207		75,200
2	個別の要素事業実施に伴う、直接的な定量的成果目標の達成 歩行者の通行や車両通行上課題のある都市計画道路、市道の進捗率 対象用地 取得済み面積(m ²) / 対象事業 用地総面積(m ²)	37%	83%	100%
3	個別の要素事業実施に伴う、直接的な定量的成果目標の達成 土地区画整理事業により都市基盤が整備された良好な市街地の割合 使用収益開始面積(m ²) / 対象面積(m ²)	88%	94%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	桶川市	直接	桶川市	S街路	-	3・1・32号桶川駅東口駅前広場整備事業	新設整備 0.1km	桶川市						1,280		-	
		平成30年度より「桶川駅東口周辺地区都市再生整備計画」へ移行																		
	A01-002	街路	一般	桶川市	直接	桶川市	S街路	-	3・4・23号坂田寿線整備事業	道路拡幅 0.3km	桶川市						491		-	
	A01-003	道路	一般	桶川市	直接	桶川市	市町村道	-	市道3499号線整備事業	新設整備 0.2km	桶川市						675		-	
												小計						2,446		
市街地整備事業	A13-004	市街地	一般	桶川市	間接	桶川市下日出谷東特定土地区画整理組合	-	-	下日出谷東特定土地区画整理事業	都市再生区画 A=36.8ha	桶川市						302		-	
	A13-005	市街地	一般	桶川市	間接	桶川市上日出谷南特定土地区画整理組合	-	-	上日出谷南特定土地区画整理事業	都市再生区画 A=64.6ha	桶川市						200		-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
											小計					502			
											合計					2,948			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
企画財政部財政課が主管課となり、事業課と連携しながら事後評価を実施。	交付期間の終了後である令和3年度に実施。
	公表の方法
	桶川市ホームページにて公表。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【指標1 桶川市の人口維持】目標値75,200人、実績値75,202人 人口数については、目標値を達成しており、少子高齢化による人口減少の影響を受けつつも、区画整理事業と連動した整備により目標値を維持することができた。</p> <p>【指標2 用地取得】目標値100%、実績値100% 用地買収についてはすべて完了し、目標値を達成している。</p> <p>【指標3 土地区画整理事業使用収益開始面積】目標値100%、実績値100% 道路整備についてはすべて完成し、目標値を達成している。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>交通の安全性、渋滞緩和（坂田寿線及び市道3299号線（西側大通り線）の整備完了） 良好な住環境の整備（上南・下東の換地処分）</p>
特記事項（今後の方針等）	
<p>街路事業及び区画整理事業がおおむね完了したことから、今後は引き続き駅東口の整備を推進するとともに、道路整備を実施し、駅周辺の安全性や快適性の向上による良好な市街地の形成に努めていく。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	75200人	【指標1 桶川市の人口の維持】 目標値と実績値はほぼ同数
	最終実績値	75202人	
2	最終目標値	100%	【指標2 用地取得】 目標値と実績値は同数
	最終実績値	100%	
3	最終目標値	100%	【指標3 土地区画整理事業使用収益開始面積】 目標値と実績値は同数
	最終実績値	100%	